

戦略5 デジタル技術で住みよい明日を切りひらく

計画期間 令和6年度～令和10年度

主管部局 企画政策部 関係部局 経済部

【戦略実現に向けた施策の方向性】

- スマートフォンなどを用いて、自身の健康の保持・増進を図る取組を推進します。
- 江別市の魅力である「食」と「農」を守り、育てるため、負担軽減などにつながるA I等の先端技術の導入を推進します。
- デジタル技術は、様々な分野での活用が想定されることから、時代の変化に応じて、積極的に取り入れ、豊かな暮らしをつくります。
- 市民がデジタル化の便利さを実感できるように支援します。

【戦略を構成する具体的施策の事業費推移】

名 称	決算額									
	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
(1) デジタル技術の活用	10,256	千円	10,566	千円		千円		千円		千円
(2) 農業経営の安定化	30,696	千円	39,540	千円		千円		千円		千円
計	40,952	千円	50,106	千円		千円		千円		千円

戦略実現に向けての数値目標**◆数値目標（1） デジタル技術を活用したまちづくりが進んでいると思う市民割合（単位：％）**

現状値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	目 標
19.4	24.1	29.7				25.0

◆数値目標（2） 日常生活にデジタル技術を取り入れている市民割合（単位：％）

現状値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	目 標
86.8	86.6	85.5				90.0

具体的施策 (1) デジタル技術の活用

デジタル技術やICT（情報通信技術）などを活用し、市民サービスの充実や行政事務の生産性の向上を図るとともに、市民にとって、快適で豊かな暮らしを営むことのできる生活環境の実現を目指します。

◆重要業績評価指標（KPI） eダイアリーのユーザー数（累計）（単位：人）

現状値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	目標
384	7,361	8,295				20,000

■成果動向（令和7年度の評価）

民間の健康管理アプリやスマートウォッチの急速な普及により市民の選択肢が多様化する中、市民の健康保持・推進を目的に、「生涯健康プラットフォーム推進事業」においてユーザー拡大を図るため、以下の取組を実施しました。

- ・健康イベント等において、事業内容の紹介とともに、eウォッチ及びスマートフォンの貸与専用ブースを開設し、PR活動を展開しました。
- ・既存ユーザーを対象に、健康ポイントを活用したキャンペーンを実施し、ユーザーの継続利用を促進しました。
- ・eダイアリー（スマートフォン・アプリ）の機能改善を実施しました。

■改善案（次年度へ向けた展開・課題・推進の方向性）

- ・「生涯健康プラットフォーム実装協議会」が提供するデジタル技術を活用した市民サービスに対し、PR活動等の支援を継続します。
- ・「eダイアリーを活用した健康生活への満足度」が低い水準にあることから、機能改善と安定運用に努めます。
- ・「生涯健康プラットフォーム実装協議会」において、引き続き民間事業者を中心に事業内容の精査や継続利用を促す仕組みづくりを検討します。

<課題>

- 市民がデジタル化の便利さを実感できる市民サービスの検討が必要
- デジタル技術を活用した健康管理の更なる普及促進策の検討が必要
- eダイアリー等の利用促進に係る市民PRが必要

<取組の概要>

- ・行政手続等のデジタル化を実施し、市民の利便性の向上を図る
- ・北海道情報大学等と連携しながら、生涯健康プラットフォーム推進事業を実施
- ・市ホームページやイベント出展などを通じて、市民PRを実施

事務事業	成果指標	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備考
生涯健康プラットフォーム推進事業	地域生活の幸福度割合（健康状態）	81.7 %	80.0 %		
	eダイアリーを活用した健康生活への満足度	- %	45.5 %		
	事業費	10,256 千円	10,566 千円	千円	

具体的施策 (2) 農業経営の安定化

農業の担い手の育成・確保をはじめ、経営規模の拡大や、収益性の高い農産物の生産、デジタル技術の活用などにより、生産性の高い安定した農業経営を推進します。

◆重要業績評価指標 (KPI) 補助金交付件数のうち、スマート農業機械等対象分 (累計) (単位: 件)

現状値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	目標
0	0	40				5

■成果動向 (令和7年度の評価)

第5次江別市農業振興計画の展開項目の一つである「農業経営の安定化」に向けて、農業の担い手の育成・確保をはじめ、経営規模の拡大や、収益性の高い農産物の生産、デジタル技術の活用などにより、生産性の高い安定した農業経営を推進するため、次の取組を進めました。

- ・農業者や農業関係機関等とワークショップを2回開催 (参加者延べ59名) し、当市における最適なスマート農業の推進方法についてニーズ調査や意見交換を行い、合意形成を図りました。
- ・令和6年度にトラクターの自動操舵やドローンの飛行精度向上に必要なRTK基地局など、作業の効率化や省力化に効果的であり農業者ニーズが高いスマート農業技術について、引き続き実機を用いた試行調査を実施しました。
- ・スマート農業に関するデジタル技術は汎用性が高いことから、防災や除雪など多用途活用に向けた調査研究を行いました。
- ・スマート農業機械の導入費用の一部を補助することで、スマート農業機械の導入を促進しました。
- ・産学官連携による持続可能なスマート農業の推進のため「スマート農業ネットワーク」を設立し、関係機関との連携を強化しました。

■改善案 (次年度へ向けた展開・課題・推進の方向性)

- ・スマート農業の推進について、令和6～7年度に実施した試行調査の結果を踏まえ、スマート農業情報通信基盤の整備に取り組みます。
- ・スマート農業の効果を最大限活用するため、農地の大区画化など基盤整備に取り組みます。
- ・地域おこし協力隊などの外部人材を活用し、スマート農業の普及啓発を強化します。
- ・「スマート農業ネットワーク」の参画団体が持つ専門知識を活かした相互連携により取組の高度化を検討します。
- ・スマート農業機械の導入費用を一部補助し、スマート農業機械の導入を促進します。
- ・庁内関係部署において、スマート農業に関するデジタル技術の多用途活用を検討します。

<課題>

- スマート農業に係る技術は多岐に渡ることから、当市の少量多品目という営農環境に最適な手法の検討が必要
- RTK基地局等の通信環境整備の検討が必要
- 通信環境整備のための事業規模の検討が必要
- スマート農業に係る農業機械の導入に係る支援策の検討が必要
- 農業分野以外の多用途活用についての検討が必要

<取組の概要>

- ・当市に最適なスマート農業推進手法を検討するため、農業者等とのワークショップやニーズ調査、実機を用いた試行調査等を実施
- ・農業関係機関や市内大学等との連携の推進するためスマート農業ネットワークを設立
- ・令和8年度以降、スマート農業を最大限活用する基盤整備 (大区画化等) への支援やスマート農業に関する普及啓発の強化のために外部人材を活用することを決定
- ・令和8年度に向けてRTK基地局を増設することを決定
- ・令和8年度に向けてスマート農業機械導入支援の対象機器を拡充することを決定
- ・農業分野以外の多用途活用について庁内関係部署と意見交換を実施

事務事業	成果指標	令和6年度	令和7年度	令和8年度	備 考
地域農業経営安定推進事業	補助金交付件数のうち、スマート農業機械等対象分	0 件	0 件		
	事業費	219 千円	0 千円	千円	
スマート農業推進検討事業	検討結果報告書	1 式	1 式		
	事業費	30,477 千円	35,540 千円	千円	
スマート農業機械導入促進事業	スマート農業機器導入件数		40 件		※件数にはスマート農業・農業支援サービス事業導入総合サポート緊急対策事業の1件を含む
	事業費		4,000 千円	千円	